

記入例

総合工事業
職別工事業 の概ねいずれか
設備工業

放射線作業届		様式第1号	
事業の種類	元方事業場の名称	事業場の所在地	
設備工事業	株式会社〇〇〇 ●●事業本部	●●県●●市〇〇〇1-1-1	
作業の件名	●●原発構内●●設置、調整、操作等作業		
作業指揮者の職氏名	現場における直接指揮者の職名と氏名を記載 例 主任指導員 労働太郎 複数の場合は別紙	今回届分の期間 平成●●年●●月●●日～平成●●年●●月●●日 全体工期 (平成●●年●●月●●日～平成●●年●●月●●日)	
関係請負人の名称及び所在地	株式会社〇〇〇 ●●支社 ●●県●●市〇〇〇2-2(多数の場合は別紙)		
作業の場所	●●電力(株)△△原子力発電所 ●●施設 ○○建屋(詳細は別添図面参照)		
作業期間(全体工期)	平成●●年●●月●●日～平成●●年●●月●●日	作業員数	
	継続作業は全体工期も記入	元方事業場	関係請負人 合計
		2名	14名 16名
		作業員数は延べ人数ではない	
作業の概要	作業の種類、作業員数、作業時間、作業日数(作業内容がわかる資料を別添) ●●設置工事、作業員数●●名、1日●●時間、作業日数●●日 ●●設置工事、作業員数●●名、1日●●時間、作業日数●●日 ●●設置工事、作業員数●●名、1日●●時間、作業日数●●日		
放射線環境	外部放射線による線量当量率 (mSv/h)	～●●mSv/h、最大●●mSv/h	
	表面汚染 (Bq/cm ²)	～●●Bq/cm ²	
	空气中濃度 (Bq/cm ³)	～●●Bq/cm ³	
放射線遮へい、遠隔操作等の被ばく防止の措置	時間管理員による作業時間管理、作業時間の短縮 高線量箇所における遮へい材の設置 除染等による線源の除去		
汚染防止の措置	タイベック、アノラックの重ね着、靴の履き替え、ゴム手袋2重使用 高性能フィルターの局所排気装置の使用 汚染した場合は○○棟のシャワーで除染する。 汚染した場合の措置を必ず記入		
保護衣及び保護具	タイベック、アノラック、全面マスク	警報計(警報設定値)	APD(1mSv)
熱中症予防措置等	詳細は別添3熱中症予防対策チェックリストのとおり。 連続作業時間は●●～●●時間		
事故等発生時の避難等の措置	構内電話、携帯電話、緊急サイレンによる一斉通報 避難教育による●●への避難の徹底、避難経路図(避難経路を図示し、別添とする)		
放射線環境の監視の方法	外部放射線による線量当量率 (mSv/h)	(随時)電離式サーベイメーター	
	表面汚染 (Bq/cm ²)	●●電力の開示	
	空气中濃度 (Bq/cm ³)	ダストサンプラー	
推定実効線量	平均実効線量 (mSv)	1.5	備考
	最高実効線量 (mSv)	3.6	
	総実効線量 (人・mSv)	24	
平成 年 月 日			
発注者として上記作業届を確認しました。		事業者職氏名 ⑩	
●●労働基準監督署長 殿		●●電力担当者職氏名 ⑩	

平均実効線量は期間中に一人の作業員が受ける線量である。
1日当たりの数値ではない。
最高実効線量は過去の実績最高値または管理目標値
総実効線量は期間中に全作業員が受ける線量の合計値

総実効線量 ÷ 作業員合計 = 平均実効線量

記載欄が小さく記入しきれない場合には、別紙(任意)を作成し記入して下さい。